

宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」に対する肯定率は、市・県を上回っている。計画の立て方や見直し方や学習の仕方について様々な例を示し、今後も適宜指導を続ける。

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「勉強していて、不思議だな、なぜだろうと漢字つことがある」に対する「はい」の回答率は50%を越え、市・県を上回っている。今後も授業において、生徒の興味関心を喚起する導入や事例を提示し、学習意欲の向上を図る。

●「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対する肯定率は、市・県を下回っている。考えが深めたり広げたりするための方策を考え、教科を越えて学校教育全体で取り組む。

●「将来の夢や目標をもっている」に対する肯定率は、60%を越えているが、市・県を下回っている。自己理解を深めさせると共に自尊感情を醸成させる活動を提供し、キャリア教育へとつなぐ。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
○基礎基本の確実な定着 ○学習指導の工夫・改善	○基礎的な力を身に付けさせるための夏休みやテスト前部活中止期間の放課後等を利用した補充学習の実施と参加啓発。 ○自ら学習する態度の育成を図るため、家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保の指導。	○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」についての肯定率は市・県を上回っているが、「家で、学校の授業の復習をしている」については市・県を下回っている。 ○「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」についての肯定率は、市・県を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」についての肯定率は、市・県を下回っている。	○各教科の授業や道徳、学活等で、生徒が話し合い活動を通じて何らかの達成感を得ることのできる課題を設定する。	○話し合い活動を書く授業で設定し、授業の最後に振り返りを行う。 ○指導者は、振り返りシートだけでなく、授業中の観察で生徒の発言や表情などからも評価し、担任や学年と情報を共有し、適宜生徒へのフィードバックを行う。